

働くことは生きること

～逆境が私を育ててくれた～

なかその
脚本家 **中園 ミホ 氏**

東京都出身。日本大学芸術学部卒業後、広告代理店に勤務。その後コピーライター、占い師の職業を経て、1988年脚本家としてデビュー。『不機嫌な果実』『やまとなでしこ』『下流の宴』などテレビドラマを中心に、多くの作品を執筆。2007年に『ハケンの品格』が放送文化基金賞と橋田賞を、2013年には『はつ恋』『Doctor-X ～外科医・大門未知子～』で向田邦子賞を受賞した。2014年はNHK連続テレビ小説『花子とアン』を執筆、朝ドラ過去10年間で最高視聴率を記録するなど注目を集めた。徹底した取材を通じてのリアルな人物描写には定評があり、特に女性の本音に迫るセリフは多くの視聴者から共感を得ている。現在放映中のテレビドラマでは「Dr.倫太郎」がある。2010年から日本大学芸術学部客員教授。



日 時 平成27年7月11日(土)
午後2時～3時30分(1時より受付)

場 所 熊本学園大学 14号館高橋守雄記念ホール

申込み 〒住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご記入のうえ
フリガナ
ハガキまたはFAXでお申込みください

受講料 無 料

募集人員 400名

(お申込み) 〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1
熊本学園大学内 第23期DOがくもん第1回講演会係
FAX(096) 366-3158

(お問合わせ) 電 話(096) 364-8729

主催：熊本学園大学・熊本日日新聞社